

人材育成に関する研修・セミナーを受けたい！

産業人材育成研修情報提供事業

道内各機関が実施している産業人材育成に関する研修・セミナー情報を収集し、ポータルサイトにおいて提供しています！

提供する情報の内容

一次産業、二次産業及び三次産業における人材育成に関する研修・セミナーの情報を研修・セミナーポータルサイト(北海道庁ホームページ内)にて提供しています。

ご利用方法

- ・下記URLより研修・セミナー情報を参照できます。
- ・下記URLから利用者登録を行ってください。随時受付しています。登録を行うと、新着情報・サイトに載らない更新情報についてお知らせするほか、研修・セミナーの要望を受付し、研修実施機関における実施を検討します。
- ・URL : <https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/jzi/portalsite.html>

北海道経済部 労働政策局 産業人材課 産業訓練係 TEL 011-204-5357

在職者の職業訓練について相談したい！

在職者職業訓練総合相談窓口

従業員の技能・能力向上をお考えの企業の方へ、在職者を対象とした職業訓練の各種情報や訓練担当窓口のご案内と併せて北海道労働局が取り扱う訓練関係の助成金制度についてご説明いたします。

事業内容

○ 北海道労働政策協定を踏まえ、平成28年1月28日に、北海道労働局、北海道、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の3者で、北海道ビジネスサポート・ハローワーク内に設置しました。

社員の人材育成に取り組み、スキルアップをお考えの企業の方、お気軽にご相談ください。

●職業訓練

能力開発セミナー、認定職業訓練制度

(実施機関：北海道、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構)

●助成金

人材開発支援助成金

(実施機関：北海道労働局)

北海道ビジネスサポート・ハローワーク Tel. 011-200-1622
札幌市中央区北1条西2丁目2 北海道経済センタービル9F

社員の人材育成について相談したい！

人材育成プラン

事業主団体及び事業主の方々が従業員に対して教育訓練を効果的に実施できるよう、職業能力の開発及び向上に関する相談・支援を行っています。

相談では、計画的・効率的な人材育成のために、職業能力開発体系を活用した「人材育成プラン」を提案いたします。

人材育成プランの流れ

「職業能力開発体系」を活用した人材育成プランづくりの流れは、「仕事の見える化」、「能力の見える化」、「目標の見える化」、「能力開発の見える化」の順に進めていきます。

1. 仕事の見える化（仕事に必要な職業能力は何か？）
2. 能力の見える化（個人ごとにどの仕事がどの程度できるか？）
3. 目標の見える化（個人ごとに次の能力開発の目標は何か？）
4. 能力開発の見える化（能力開発をどのように進めるか？）

職業能力開発体系を活用した「人材育成プランのご提案」の流れについては、「人材育成のパートナー」のリーフレットに詳細を記載しております。「人材育成のパートナー」のリーフレットからダウンロードしてご覧ください。<https://www.jeed.go.jp/js/jigyonushi/om5ru8000000584n-att/om5ru8000000594k.pdf>

よくあるご質問（Q&A）

Q1. 人材育成のメリットは何ですか。

A1. 従業員のスキルアップにより生産性の向上や事業の拡大が期待できます。また、従業員のモチベーションが向上し、職場定着率の向上にもつながります。

Q2. 職業能力開発体系とは何ですか。

A2. 職業能力の開発及び向上に向けて、人材育成をどのように計画的・効果的に進めるかについて整理するためのツールです。仕事・作業に必要な職業能力（知識・技能・技術）を段階的・体系的に整理した「職業能力の体系」と、それらを身につけるための訓練カリキュラムを同様に整理した「職業訓練の体系」からなっています。このうち「職業能力の体系」は、人材開発支援助成金等の厚生労働省の助成金における「汎用性のある評価基準」に定められています。

Q3. どのように人材育成を支援してもらえますか。

A3. 従業員の人材育成における課題解決のために、職業能力開発体系を活用して4つの「見える化」の流れで従業員の職業能力の開発及び向上に関する支援を行います。御社のご要望にあわせて、ハロートレーニング（在職者訓練）の実施、生産性向上支援訓練の実施、テクノインストラクター（職業訓練指導員（講師））派遣、機器設備等をご利用いただけます。

Q4. 費用はかかりますか。

A4. 「人材育成プラン」は無料でご提案いたします。詳しくは、最寄りのポリテクセンター・ポリテクカレッジの生産性向上人材育成支援センターまでお問い合わせください。

(独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部

○ポリテクセンター北海道（北海道職業能力開発促進センター）訓練第二課 TEL 011-640-8823

URL : <https://www3.jeed.go.jp/hokkaido/poly/>

○ポリテクセンター旭川（旭川訓練センター）訓練課 TEL 0166-48-2327

URL : <https://www3.jeed.go.jp/asahikawa/poly/>

○ポリテクセンター釧路（釧路訓練センター）訓練課 TEL 0154-57-5938

URL : <https://www3.jeed.go.jp/kushiro/poly/>

○ポリテクセンター函館（函館訓練センター）訓練課 TEL 0138-52-0323

URL : <https://www3.jeed.go.jp/hakodate/poly/>

○北海道ポリテクカレッジ（北海道職業能力開発大学校）援助計画課 TEL 0134-62-3551

URL : <https://www3.jeed.go.jp/hokkaido/college/>

従業員の人材育成をしたい！

生産性向上支援訓練

あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、企業が生産性を向上させるために必要なスキルを習得する職業訓練です。個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

生産性向上支援訓練の3つのポイント

①訓練を受講して生産性アップ

生産性向上のために必要な課題解決や現場力強化につながる様々なカリキュラムをご用意しています。カリキュラムは、各企業の課題・ニーズにあわせて内容をカスタマイズできます。

②オーダーメイドで訓練を実施

日程や訓練会場などのご要望にあわせて、生産性向上人材育成支援センター（生産性センター）が訓練をコーディネートします。

訓練時間は4～30時間の範囲内で、ご要望にあわせて設定できます。

③受講しやすい料金設定

受講料は1人当たり2,000円～6,000円（税別）です。

さらに、生産性向上支援訓練を従業員に受講させた事業主は、人材開発支援助成金を利用して経費及び賃金の助成を受けることができます。

※助成金の受給には、一定の要件（訓練対象者の職務と訓練内容の関連が認められること、10時間以上の訓練であること等）を満たす必要があります。

訓練分野と主なコース

A：生産・業務プロセスの改善

工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセス改善に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

【例】 生産現場の問題解決、RPA活用、テレワークを活用した業務効率化 など

B：横断的課題

既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳以上の就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

【例】 組織力強化のための管理、業務効率向上のための時間管理、後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割 など

C：売上げ増加

マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の取得を主な目的としています。

【例】 マーケティング志向の営業活動の分析と改善、提案型営業手法/実践 など

D：IT業務改善

生産性を向上させるための手段としてITを利活用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識や手法の習得を主な目的としています。

【例】 表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化、集客につなげるホームページ作成 など

(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部

○ポリテクセンター北海道 生産性向上人材育成支援センター Tel 011-640-8828

URL: <https://www3.ieed.go.jp/hokkaido/poly/biz/>

○ポリテクセンター旭川（旭川訓練センター）訓練課 Tel 0166-48-2327

URL: <https://www3.ieed.go.jp/asahikawa/poly/>

○ポリテクセンター釧路（釧路訓練センター）訓練課 Tel 0154-57-5938

URL: <https://www3.ieed.go.jp/kushiro/poly/>

○ポリテクセンター函館（函館訓練センター）訓練課 Tel 0138-52-0323

URL: <https://www3.ieed.go.jp/hakodate/poly/>

○北海道ポリテクカレッジ（北海道職業能力開発大学校）援助計画課 Tel 0134-62-3551

URL: <https://www3.ieed.go.jp/hokkaido/college/>

社員の専門的知識や技能・技術を向上させたい！

能力開発セミナー（在職者訓練）

企業の生産現場が抱える問題解決のために、機械系、電気・電子系、居住系の“ものづくり分野”を中心として、設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全などの、実習を中心とした訓練コースを体系的に実施しています。

能力開発セミナーの概要

企業の成長・発展には、競争力及び経営資源を強化する「人材育成」が欠かせません。当機構では、企業の生産現場で働く在職者が抱える課題解決のため、生産性の向上や業務の改善、新たな製品の創造に必要な専門的知識及び技能・技術を習得する職業訓練を実施しています。能力開発セミナーは、中小企業等の生産活動等をリードする指導的・中核的立場にある方又はその候補者の方々の人材育成を目的とした短期間（2日～5日）の職業訓練です。

能力開発セミナーの特徴

- ①ものづくりに関わる中小企業等の皆様の職業能力の開発と高度化に向けた人材育成を支援します。
- ②ものづくりに関する仕事の品質及び生産性の向上・改善を目指したコースを提供します。
- ③各コースは少人数（標準定員10名程度）で、学科と実技を融合した実践的な訓練カリキュラムで構成しています。
- ④個々の専門分野を段階的かつ体系的に習得するカリキュラムで構成しています。

※ものづくり分野の訓練とは

訓練には、直接生産型（加工、組立、設計、工事、施工、検査等）と間接支援型（生産管理、品質管理、設備保全、教育訓練、安全衛生等）とそれらにIT技術とその基盤となる技術を含めた職業能力を習得する訓練があります。

主な能力開発セミナーコース

○機械系

2次元CADによる機械設計技術、実践機械製図、3次元CADを活用したアセンブリ技術、切削加工の理論と実際、旋盤加工技術、フライス盤加工技術、NC旋盤プログラミング技術、NC旋盤加工技術、マシニングセンタ加工技術、被覆アーク溶接技能クリニック、精密測定技術

○電気・電子系

シーケンス制御による電動機制御技術、PLCプログラミング技術、有接点シーケンス制御の実践技術、電気設備の総合的設計技術、一般用電気工作物の施工技術、トランジスタ回路の設計・評価技術、センサ回路の設計技術、組込みシステムにおけるプログラム開発技術、タブレット型端末を利用した通信システム構築、実習で学ぶ画像処理・認識技術

○居住系

実践建築設計2次元CAD技術、BIMを用いた建築生産設計技術、ARを活用した建築プレゼンテーション技術、住宅の音響環境性能測定実践技術、住宅計画実践技術、木造住宅における許容応力度設計技術、冷媒配管の施工と空調機器据付け技術、トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術
自動火災報知設備工事の施工・保守技術

能力開発セミナーのご案内：https://www3.jeed.go.jp/hokkaido/poly/copy_of_about.html

「ホームページに掲載されているコースを受けたいが、日程が合わない。」「自社の実情や目的に合った研修を実施したい。」等のご要望に対し、オーダーコースとしてセミナーを実施することも可能です。

各ポリテクセンター等にお問い合わせください。

(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構 北海道支部

○ポリテクセンター北海道（北海道職業能力開発促進センター）訓練第二課 TEL 011-640-8823

URL：<https://www3.jeed.go.jp/hokkaido/poly/>

○ポリテクセンター旭川（旭川訓練センター）訓練課 TEL 0166-48-2327

URL：<https://www3.jeed.go.jp/asahikawa/poly/>

○ポリテクセンター釧路（釧路訓練センター）訓練課 TEL 0154-57-5938

URL：<https://www3.jeed.go.jp/kushiro/poly/>

○ポリテクセンター函館（函館訓練センター）訓練課 TEL 0138-52-0323

URL：<https://www3.jeed.go.jp/hakodate/poly/>

○北海道ポリテクカレッジ（北海道職業能力開発大学校）援助計画課 TEL 0134-62-3551

URL：<https://www3.jeed.go.jp/hokkaido/college/company/society/>

従業員の能力向上に取り組みたい！

能力開発セミナー（在職者訓練）

従業員の能力の向上に取り組む企業を対象に、道立高等技術専門学院（MONOテク）及び障害者職業能力開発校が各地で能力開発セミナーを開催します！

学院名	訓練科目	日程	内容	実施地
札幌	2級管工事科	8.21～10.20	2級管工事施工管理技士	札幌市
	Androidアプリ開発科	9.25～10.4	Androidアプリ開発	札幌市
	消防設備科	1.18～1.19	消防設備	札幌市
函館	建築製図科	2.1～2.15	製図基礎	函館市
旭川	木工科（1級・2級コース）	6.10～6.11	施工法（家具製作）	旭川市
	建設経理科	10.2～10.27	建設業経理士2級	旭川市
	土木科	2.5～2.16	2級土木施行管理技士	旭川市
稚内	IT活用科Ⅰ	6.15～6.29	ビジスマナーとペイントアプリの活用	中川町
	自動車整備科	7.7～9.29	2級ガソリン	稚内市
	観光サービス科Ⅰ	8.21～10.12	おもてなし英会話	稚内市
	IT活用科Ⅲ	9.7～10.26	ドローンの活用	稚内市
	IT活用科Ⅱ	10.13～10.14	ドローンの活用	利尻町
	観光サービス科Ⅱ	10.17～11.21	SNSによる情報発信	稚内市
	建設経理科	1.11～2.6	2級建設業経理士	稚内市
	配管科	1.12～1.13	建築配管	稚内市
北見	エクセル初級科	6.7～6.8	エクセル基礎	北見市
	ケアマネージャー受験対策科	8.17～9.28	介護支援専門員試験受験対策	網走市
	エクセル初級科	8.31～9.28	エクセル基礎	遠軽町
	介護福祉士支援科	11.1～11.29	福祉関係の基本理念と倫理、介護福祉士試験受験対策	網走市
	エクセル中級科	10.17～11.16	エクセル応用	遠軽町
	溶接技術科	2.21～2.22	溶接技術者評価試験受験対策	北見市
室蘭	OA事務科	6.5～7.6	ワード・エクセル基礎	室蘭市
	OA事務科	7.24～8.23	ワード応用	室蘭市
	OA事務科	9.4～9.28	エクセル応用	室蘭市
	OA事務科	10.10～10.25	パワーポイント基礎	室蘭市
苫小牧	電気工事科（第二種）	5.2～5.25	第二種電気工事士学科講習	苫小牧市
	自動車整備科（3級）	6.12～9.8	整備技術習得講習	苫小牧市
	電気工事科（第一種）	9.7～9.21	第一種電気工事士学科講習	苫小牧市
	自動車整備科（2級）	11.13～2.27	整備技術習得講習	苫小牧市
帯広	ICT活用科Ⅰ	6.6～6.22	ドローン活用基礎	帯広市
	OA事務科	9.12～9.28	ワード中級	帯広市
	電気工事科Ⅰ	9.1～9.29	電気工事基礎	帯広市
	電気工事科Ⅱ	11.1～12.6	電気工事応用	帯広市
釧路	観光ビジネス科	9.20～10.20	中国語講座	釧路市
	ホームページ作成基礎科	10.10～10.26	ホームページ作成	釧路市
障害者校	ビジネススキル基礎科	6.13～7.14	情報ビジネス技術	旭川市
	パソコン事務科	7.11～9.12	ワープロ・表計算基礎	札幌市
	コミュニケーション科	9.19～10.24	交流スキル基礎	札幌市
	コミュニケーション科	10.6～10.31	交流スキル基礎	旭川市

ご利用方法

- ・受講料は無料です。※テキスト代等の実費負担あり（500円～10,000円程度）
- ・各MONOテク（高等技術専門学院）・障害者職業能力開発校又は下記までお問い合わせください。
- ・URL：https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/jzi/kidou_hoka.html

企業の課題やニーズを踏まえた研修を受けたい！

中小企業大学旭川校の研修制度

(独) 中小企業基盤整備機構が運営する中小企業大学校旭川校は、道内中小企業の人材育成をサポートするため、中小企業の経営者・経営幹部、管理者、後継者等を対象に、道内中小企業の課題や地域ニーズを踏まえた研修を行っています！

2023年度研修事業計画(9月～3月分)

	研修コース名	研修日程	受講料 (税込み)
26	事業継続計画(BCP)の作り方(札幌開催)	2023年9月12日(火)～9月14日(木)	32,000円
201	人材採用・定着の進め方(苫小牧開催)	2023年9月13日(水)～9月15日(金)	32,000円
27	人事・労務管理の基本と実務(札幌開催)	2023年9月20日(水)～9月22日(金)	32,000円
28	営業力を高める顧客ニーズのつかみ方	2023年9月26日(火)～9月28日(木)	32,000円
29	組織風土づくりの考え方・進め方(札幌開催)	2023年10月4日(水)～10月6日(金)	32,000円
30	ブランディング実践講座	2023年10月12日(木)～10月13日(金)	22,000円
31	5S基礎講座(札幌開催) ※インターバル	2023年10月16日(月)～11月22日(水)	39,000円
32	資金繰りを向上させる会計実務講座	2023年10月18日(水)～10月20日(金)	32,000円
33	SDGsの考え方・進め方(札幌開催)	2023年10月23日(月)～10月24日(火)	22,000円
34	新任管理者研修(10月開講)	2023年10月24日(火)～10月27日(金)	39,000円
203	次世代トップリーダー研修(函館開催)	2023年11月1日(水)～11月2日(木)	22,000円
35	中堅管理者研修(11月開講)	2023年11月15日(水)～11月17日(金)	32,000円
36	Webマーケティング講座	2023年11月21日(火)～11月22日(水)	22,000円
37	ファシリテーション基礎講座(札幌開催)	2023年11月27日(月)～11月29日(水)	32,000円
38	企業法務講座(札幌開催)	2023年12月6日(水)～12月7日(木)	22,000円
39	若手リーダー研修(12月開講)	2023年12月12日(火)～12月14日(木)	32,000円
40	OJTで育てる自律型人材	2024年1月11日(木)～1月12日(金)	22,000円
41	営業計画策定講座 ※インターバル	2024年1月15日(月)～2月21日(水)	39,000円
42	トラック運送業の業務改善講座	2024年1月18日(木)～1月19日(金)	22,000円
43	決算書の読み方講座(財務初級編)(札幌開催)	2024年1月22日(月)～1月24日(水)	32,000円
44	経営トップセミナーⅡ(札幌開催)	2024年1月30日(火)	16,000円
45	多能工化(マルチスキル)の進め方(札幌開催)	2024年2月5日(月)～2月7日(水)	32,000円
46	建設業のための現場管理者養成講座(2月開講)	2024年2月7日(水)～2月9日(金)	32,000円
47	後継者のための企業経営講座(札幌開催)	2024年2月14日(水)～2月15日(木)	22,000円
48	職場の問題発見・解決力強化講座	2024年2月14日(水)～2月16日(金)	32,000円
49	物流改善の考え方・進め方(基本編)	2024年2月19日(月)～2月20日(火)	22,000円
50	人材採用・定着の進め方	2024年2月26日(月)～2月28日(水)	32,000円
51	管理者のセルフマネジメント術(札幌開催)	2024年2月27日(火)～2月28日(水)	22,000円
202	若手リーダー研修(帯広開催)	2024年3月14日(木)～3月15日(金)	22,000円

※その他サテライト・ゼミ・追加研修につきましては、旭川校ホームページをご参照ください。

中小企業大学校旭川校の研修受講に際しては、「人材開発支援助成金」や、市町村・商工会議所・商工会・信用金庫等の助成制度がご利用いただけます。研修によっては該当しない場合がありますので、詳しくは事前に北海道労働局や各機関へお問い合わせください。

ご利用方法

下記リンクまたは右のQRコードより、各研修のご案内ページからお申し込みください。
URL : <https://www.smrj.go.jp/institute/asahikawa/>



航空機関連産業へ参入したい!宇宙・航空機関連産業の人材を確保・育成したい!



航空機関連産業雇用創造・クラスター事業/宇宙関連ビジネス加速化プロジェクト推進事業

航空機関連産業への道内企業の経営多角化や事業転換に向けた支援、宇宙・航空機関連産業の人材確保や従業員の育成等を支援します。



事業内容(予定)

- 令和5年度に予定しているプログラムの一部をご紹介します。
詳細や、下記以外のものについては、道のHPをご覧ください。調整中のものは随時掲載します。

■航空機関連産業雇用創造・クラスター事業

プログラム	対象	内容・目的	道HP
外部研修補助金	道内企業 (ものづくり産業、航空機関連産業)	道内企業の航空機関連産業への経営多角化や事業転換を支援し、本道ものづくり産業における雇用創造及び産業の振興を図ることを目的とし、外部研修に要する経費を予算の範囲内で補助します。 ■1社あたり100万円以内(1従業員あたり50万円以内)、補助率1/2(詳細は要綱をご覧ください)	
北海道航空機関連産業参入促進セミナー	航空業界への参入意欲がある道内ものづくり企業の経営者等	業界の特性及び参入までの道のりや、先進事例等を講師が紹介します。 (定員50名程度、無料) ■令和6年1月頃開催予定(調整中)	

■宇宙関連ビジネス加速化プロジェクト推進事業

プログラム	対象	内容・目的	道HP
企業説明会	道内外の大学生・大学院生、工業高等専門学校生、専門学校生、社会人等	宇宙関連産業企業の説明会をリアル&オンラインのハイブリッドで開催予定。セミナーや意見交換により、宇宙関連ものづくり産業や業界への就職も視野に入れた理解を深めます。 ■令和5年12月頃開催予定(調整中)	
就業体験会	道内外の大学生・大学院生、工業高等専門学校生、専門学校生、社会人等	宇宙関連産業企業の見学、体験、先輩社員との意見交換により、宇宙関連ものづくり産業や業界への就職も視野に入れた理解を深めます。 ■令和5年12月頃開催予定(調整中)	

経済部 スタートアップ推進室(宇宙航空産業担当) TEL 011-204-5336
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/sus/uchu-kouku.html>

企業内での人材育成を進めたい！

人材開発支援助成金

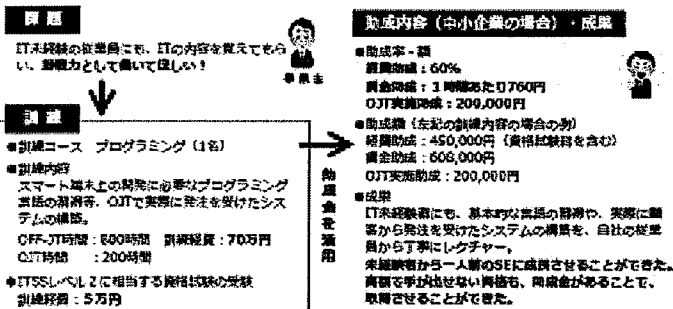
人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

概要

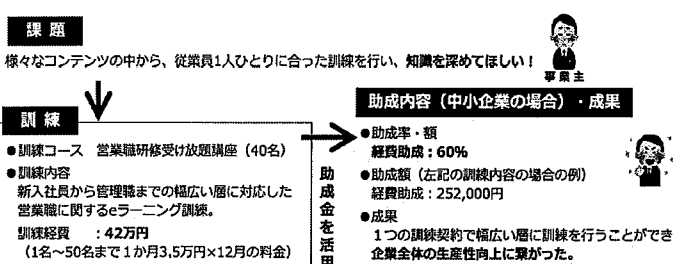
コース名	訓練メニュー	対象労働者	対象となる訓練
人材育成支援コース ※2023.4 新設	人材育成訓練	正規 非正規	職務に関連する10時間以上のOFF-JT
	認定実習併用職業訓練	正規 非正規	企業の中核人材を育てるために実施するOFF-JTとOJTを組み合わせた訓練
	有期実習型訓練	非正規のみ対象	非正規労働者の正社員転換を目的として実施するOFF-JTとOJTを組み合わせた訓練
事業展開等リスキング支援コース ※2022.12 新設	高度デジタル人材訓練/成長分野等人材訓練	正規 非正規	高度デジタル人材(ITSSレベル3、4以上)の育成や大学院(海外を含む。)での訓練
	情報技術分野認定実習併用職業訓練	正規 非正規	IT未経験者に対するOFF-JTとOJTを組み合わせた訓練(IT分野関連の訓練)
	定額制訓練	正規 非正規	定額制訓練(サブスク型研修サービス)を利用した訓練
人への投資促進コース ※2022.4 新設	自発的職業能力開発訓練	正規 非正規	労働者が自発的に受講した訓練費用を負担する事業主への助成
	長期教育訓練休暇等制度	正規 非正規	労働者が働きながら訓練を受けられるよう長期休暇制度や短時間勤務等制度を導入
	教育訓練休暇付与コース	正規 非正規	労働者が働きながら訓練を受けられるよう、3年間に5日以上教育訓練休暇を導入


訓練の一例

IT分野未経験者にIT関連の訓練を行った場合 資格試験料も助成の対象です！




サブスクリプション型の研修サービスで訓練を行った場合




事業展開 


新開発材の展開や新規顧客開拓のノウハウを習得させるため、営業職に「営業計画強化研修」を実施

事業展開 


新たなトレーニング事業へ進出するため、従業員に「パーソナルトレーナースキル取得講座」を実施

事業展開 


新事業に展開される管理職のマネジメント能力の向上のため、「部下指導・育成力向上研修」を実施

事業展開 


リフォーム事業への展開を図るため、「内装の部分リペア実践技術コース」を受講させた

事業展開 


デジタル化が進まない産業へのデジタル化の支援事業を立ち上げるため、組織改革や管理職育成のための「IT基幹管理研修」を実施

DX化 


社内のDX化を推進するためには、人員の質・量ともに強化が必要があるため、新入社員に「IT基礎研修」「Microsoft365活用研修」を受講させた

DX化 


社内におけるデジタルセキュリティ強化とDXコンサルティングに必要な実務能力の強化のため、「ISMSクラウドセキュリティ実務員研修」を実施

DX化 

商品開発のための図面を3D画像に変更するため、「3D CADオペレーターコース」に従業員を入学させた

DX化 

ドローンを使った検査業務の拡大によりドローンパイロットを増やす必要があるため、「フライング基本技術コース」「非破壊検査基本コース」「ドローン実装士」に従業員を受講させた

DX化 

建設業における請求書の仕訳・確認、労務管理、集計などのバックオフィス業務の自動化を図るため、「デジタル人材育成サービス」に従業員を受講させた

デジタル分野などの人材育成を支援したい！

人材開発支援助成金

コース・訓練別の助成率一覧

訓練メニュー	経費助成		賃金助成		OJT助成		
	中小企業	大企業	中小企業	大企業	中小企業	大企業	
	正規雇用:45% 正規雇用:30%						
人材育成支援コース	人材育成訓練	非正規→非正規維持:60%	760円	380円	—	—	
		非正規→正社員化:70%					
	認定実習併用職業訓練	45%	30%	760円	380円	20万円	11万円
	有期実習型訓練	非正規→非正規維持:60%		760円	380円	10万円	9万円
		非正規→正社員化:70%					
事業展開等 リスキリング支援コース		75%	60%	960円	480円	—	—
	高度デジタル人材訓練	75%	60%	960円	480円	—	—
人への投資促進コース	成長分野等人材訓練	75%		国内大学院の場合 960円		—	—
	情報技術分野認定実習 併用職業訓練	60%	45%	760円	380円	20万円	11万円
	定額制訓練	60%	45%	—	—	—	—
	自発的職業能力開発訓練	45%		—	—	—	—
	長期教育訓練休暇等制度	制度導入助成 20万円		6000円/日	—	—	—
教育訓練休暇付与コース	制度導入助成 30万円		—	—	—	—	

賃金要件・資格手当等要件

人材開発支援助成金を含む雇用関係助成金では、企業における賃金加算の取組みを支援するため、賃金を向上させた事業主に対して、助成額の引き上げを行っています。

人材開発支援助成金では、事後的に賃金要件または資格手当等要件を満たした場合に、別途申請することで、割増分の追加支給を受けることができます。

詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。か、雇用助成金さっぽろセンター(北海道労働局)へお問い合わせください。

◆ 雇用助成金さっぽろセンター6階 Tel:011-788-9070

また、北海道労働局では「人への投資促進コース」「事業展開等リスキリング支援コース」の特設ページを開設していますので、ぜひご覧ください。

人材開発支援助成金 北海道労働局

検索



(人への投資促進コース) (リスキリング支援コース)

◆ 厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

非正規雇用労働者をキャリアアップさせたい！

キャリアアップ助成金

非正規雇用労働者の企業内でのキャリアアップ等を促進するため、正社員化、処遇改善の取組を実施した事業主に対して助成金を支給します！

正社員化コース

- 有期雇用労働者等を正規雇用労働者に転換または直接雇用した場合に助成
 () 内は大企業の額～以下全コースに適用

<支給額>

- ① 有期→正規：1人当たり57万円 (42万7,500円)
 ② 無期→正規：1人当たり28万5,000円 (21万3,750円)
 <①、②を合わせて1年度1事業所あたりの支給申請上限人数は20人まで>

※ 多様な正社員（勤務地限定・職務限定・短時間正社員）へ転換等した場合には正規雇用労働者へ転換等したものとみなします。

- 派遣労働者を派遣先で正規雇用労働者として直接雇用した場合に助成額を加算
1人当たり28万5,000円（大企業も同額）
- 母子家庭の母等または父子家庭の父を転換等した場合に助成額を加算
（転換等した日において母子家庭の母等又は父子家庭の父である必要があります）
①：1人あたり95,000円、②：47,500円（大企業も同額）
- 人材開発支援助成金の特定の訓練修了後に正規雇用労働者へ転換等した場合に助成額を加算
①：1人あたり95,000円、②：47,500円（大企業も同額）
うち、自発的職業能力開発訓練または定額制の訓練終了後に正社員化した場合
①：1人あたり11万円、②：55,000円（大企業も同額）
- 「勤務地限定・職務限定・短時間正社員」制度を新たに規定し、有期雇用労働者等を当該雇用区分に転換等した場合に助成額を加算
1事業所あたり95,000円（71,250円）<1事業所あたり1回のみ>

障害者正社員化コース

- 障害のある有期雇用労働者等を正規雇用労働者等に転換した場合に助成

支給対象者	措置内容	支給総額	支給対象期間	各支給対象期における支給額
重度身体障害者、重度知的障害者および精神障害者	有期雇用から正規雇用への転換	120万円 (90万円)	1年 (1年)	60万円 × 2期 (45万円 × 2期)
	有期雇用から無期雇用への転換	60万円 (45万円)		30万円 × 2期 (22.5万円 × 2期)
	無期雇用から正規雇用への転換	60万円 (45万円)		30万円 × 2期 (22.5万円 × 2期)
重度以外の身体障害者、重度以外の知的障害者、発達障害者、難病患者、高次脳機能障害と診断された者	有期雇用から正規雇用への転換	90万円 (67.5円)		45万円 × 2期 (33.5万円※ × 2期) ※第2期の支給額は34万円
	有期雇用から無期雇用への転換	45万円 (33万円)		22.5万円 × 2期 (16.5万円 × 2期)
	無期雇用から正規雇用への転換	45万円 (33万円)		22.5万円 × 2期 (16.5万円 × 2期)

支給対象者1人あたり、上記の額を支給します。
 支給対象期間1年間のうち、最初の6か月を第1期、次の6か月を第2期といいます。

賃金規定等改定コース

- すべてまたは一部の有期雇用労働者等の基本給の賃金規定等を2%以上増額改定し、昇給した場合に助成
<支給額>
賃金引き上げ率が ①3%以上5%未満：1人あたり50,000円(33,000円)
②5%以上：1人あたり65,000円(43,000円)
<1年度1事業所あたりの支給申請上限人数は100人まで>
●職務評価の手法の活用により賃金規定等を増額改定した場合に助成額を加算
1事業所あたり20万円(15万円)<1事業所あたり1回のみ>

賃金規定等共通化コース

- 有期雇用労働者等に関して正規雇用労働者と共通の職務等に応じた賃金規定等を新たに作成し、
適用した場合に助成
1事業所あたり60万円(45万円)<1事業所あたり1回のみ>

賞与・退職金制度導入コース

- すべての有期雇用労働者等に関して賞与・退職金制度を新たに設け、支給または積立てを実施した場合に助成
賞与又は退職金制度を導入：40万円(30万円)
賞与及び退職金制度を同時に導入：56万8000円(42万6,000円)
<1事業所あたり1回のみ>

短時間労働者労働時間延長コース

- 短時間労働者の週所定労働時間を延長するとともに、処遇の改善を図り、新たに社会保険の被保険者
とした場合に助成
<支給額>
①短時間労働者の週所定労働時間を3時間以上延長し新たに社会保険に適用した場合
1人あたり23万7,000円(17万8,000円)
②労働者の手取り収入が減少しないように週所定労働時間を延長するとともに基本給を昇給し、新たに
社会保険に適用した場合
1時間以上2時間未満：1人当たり58,000円(43,000円)
2時間以上3時間未満：1人当たり117,000円(88,000円)
※ 延長時間数に応じて延長時に基本給を昇給することで、手取り収入が減少していないと判断します。
※ 令和6年9月30日までの暫定措置となります。

<1年度1事業所当たり支給申請上限人数は45人まで>
※令和6年9月30日までの間、上限人数を緩和しています。

その他

- ◆ 助成金の利用に当たっては、雇用保険適用事業所ごとに「キャリアアップ管理者」を配置し、事前に「キャリアアップ計画」を作成したうえで、管轄労働局長の認定を受ける必要があります。
- ◆ キャリアアップ助成金の申請様式等については、厚生労働省ホームページを参照ください。

URL：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/part_haken/jigyounushi/career.html

助成金を受給するためのすべての要件が記載されているわけではありません。
上記助成金の要件や申請手続の詳細については、北海道労働局へお尋ねください。
・雇用助成金さっぽろセンター6F(北海道労働局) TEL 011-788-9071